

書 写

発行者			教科書の記号・番号	判型 総ページ数	検定済年
番号	名称	略称			
2	東京書籍	東 書◆	書写 002-72	B 5 変型 146	令和 6 年
15	三省堂	三省堂◆	書写 015-72	B 5 122	
17	教育出版	教 出◆	書写 017-72	A B 146	
38	光村図書出版	光 村◆	書写 038-72	B 5 変型 166	

※「発行者 略称」欄にある◆は、「学習者用デジタル教科書」（学校教育法第34条第2項に規定する教材）の発行予定があることを示しています。

1 調査の対象となる教科書の冊数と発行者

冊 数	発 行 者 の 略 称
4 冊	東書、三省堂、教出、光村

2 学習指導要領における教科・分野の目標等

【国語科の目標】

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
- (2) 社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。
- (3) 言葉がもつ価値を認識するとともに、言語感覚を豊かにし、我が国の言語文化に関わり、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

【知識及び技能】の内容

- (3) 我が国の言語文化に関する事項

○書写

文字の書き方については、小学校での学習を踏まえ、第1学年では、文字を書く基礎となる字形、文字の大きさ、配列などについて理解して楷書で書くこと、漢字の行書の基礎的な書き方を理解して書くこと、第2学年では、漢字の行書とそれに調和した仮名の書き方を理解して書くことを系統的に示している。文字文化については、文字の書き方に関する学習を基礎として、第2学年では、楷書又は行書を選ぶなど、目的や必要に応じた書き方を判断して書くこと、第3学年では、身の回りの多様な表現を通して文字を文化として認識し、その豊かさに触れながら効果的に文字を書くことを示している。

なお、「第3 指導計画の作成と内容の取扱い」の2(1) ウ(ア)に示している書写の学習指導の配慮事項を踏まえる必要がある。

また、各学年の指導事項については、毛筆と硬筆による文字の書き方についての内容を併せて示している。したがって、毛筆を使用する書写の指導を各学年で行うことは従前と変わらない。その際、「第3 指導計画の作成と内容の取扱い」の2(1) ウ「(ウ)毛筆を使用する書写の指導は各学年で行い、硬筆による書写の能力の基礎を養うよう指導すること。」に配慮する必要がある。

【学年の内容】

【第1学年】

- (ア) 字形を整え、文字の大きさ、配列などについて理解して、楷書で書くこと。
- (イ) 漢字の行書の基礎的な書き方を理解して、身近な文字を行書で書くこと。

【第2学年】

- (ア) 漢字の行書とそれに調和した仮名の書き方を理解して、読みやすく速く書くこと。
- (イ) 目的や必要に応じて、楷書又は行書を選んで書くこと。

【第3学年】

- (ア) 身の回りの多様な表現を通して文字文化の豊かさに触れ、効果的に文字を書くこと。

【参考：「中学校学習指導要領解説 国語編「第1章 総説 2 国語科の改訂の趣旨及び要点」から（抜粋）】

(2) 学習内容の改善・充実

④ 我が国の言語文化に関する指導の改善・充実

中央教育審議会答申においては、「引き続き、我が国の言語文化に親しみ、愛情を持って享受し、その担い手として言語文化を継承・発展させる態度を小・中・高等学校を通じて育成するため、伝統文化に関する学習を重視することが必要である。」とされている。

これを踏まえ、「伝統的な言語文化」、「言葉の由来や変化」、「書写」、「読書」に関する指導事項を「我が国の言語文化に関する事項」として整理し、その内容の改善を図った。

【参考：中学校学習指導要領解説 国語編「第4章 指導計画の作成と内容の取扱い 2 内容の取扱いについての配慮事項」から（抜粋）】

- ウ 書写の指導については、第2の内容に定めるほか、次のとおり取り扱うこと。
- (ア) 文字を正しく整えて速く書くことができるようにするとともに、書写の能力を学習や生活に役立てる態度を育てるよう配慮すること。
 - (イ) 硬筆を使用する書写の指導は各学年で行うこと。
 - (ウ) 毛筆を使用する書写の指導は各学年で行い、硬筆による書写の能力の基礎を養うよう指導すること。
 - (エ) 書写の指導に配当する授業時数は、第1学年及び第2学年では年間20単位時間程度、第3学年では年間10単位時間程度とすること。

3 教科書の調査研究

(1) 内容

ア 調査研究の総括表（調査結果は「別紙1」）

調査研究項目（調査研究の対象）	対象の根拠（目標等）	数値データの単位
a 「字形を整え、文字の大きさ、配列などについて理解して、楷書で書くこと」を取り上げている項目数	各学年の目標(1)	個
b 「漢字の行書の基礎的な書き方を理解して、身近な文字を行書で書くこと」を取り上げている項目数		個
c 「漢字の行書とそれに調和した仮名の書き方を理解して、読みやすく速く書くこと」を取り上げている項目数		個
d 「目的や必要に応じて、楷書又は行書を選んで書くこと」を取り上げている項目数		個
e 「身の回りの多様な表現を通して文字文化の豊かさに触れ、効果的に文字を書くこと」を取り上げている項目数		個
f 発展的な内容を取り上げている箇所数	学習指導要領 総則	箇所

イ 調査項目の具体的な内容（調査結果は「別紙2」）

① 調査項目の具体的な内容の対象とした事項

- a 「字形、文字の大きさ、配列の内容」が示されている項目（別紙2－1）
- b 「漢字の行書の基礎的な書き方の内容」が示されている項目（別紙2－1）
- c 「漢字の行書とそれに調和した仮名の書き方の内容」が示されている項目（別紙2－1）
- d 「目的や必要に応じて、楷書又は行書を選ばせる内容」が示されている項目（別紙2－1）
- e 「身の回りの多様な表現を通して文字文化の豊かさに触れ、効果的に文字を書くことの内容」が示されている項目（別紙2－1）
- f 発展的な内容を取り上げている箇所の学習の内容（別紙2－2）

<その他>

- * 1 防災や自然災害の扱い（別紙2－3）
- * 2 オリンピック・パラリンピックの扱い
- * 3 固定的な性別役割分担意識に関する記述等

<調査の結果、* 2・3については記載のないことを確認した。>

② 調査対象事項を設定した理由等

- ・ 書写において取り上げられている文字は、国語の授業や日々の生徒の生活と関連をもたせるよう配慮することが大切である。そのため、学習指導要領で示された指導事項がどのように取り上げられているか、実際の日常生活や学習活動に役立つようにどのように取り上げられているかを調査する。（a、b、c、d、e）
- ・ 発展的な内容については、中学校学習指導要領第1章総則「第2 教育課程の編成 3 教

育課程の編成における共通的事項（1）内容等の取扱い イ」において、「学校において特に必要がある場合には、第2章以下に示していない内容を加えて指導することができる。」と示されている。また、「(3)指導計画の作成等に当たっての配慮事項 イ」では、「各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的、発展的な指導ができるようにすること。」と示されている。そこで、教科書に発展的な内容として明記されている箇所について、学習指導要領に示されている内容と同様に調査することとした。(f)

- ・ 東京都では、自然災害時における被害を最小化し、首都機能の迅速な復旧を図る総合的なリスクマネジメント方策の確立が喫緊の課題であり、防災教育の普及等により地域の防災力の向上が重要であることから、防災や自然災害の扱いについて調査する。（＊1）
- ・ 東京都教育委員会教育目標の基本方針2・3に基づき、文化・スポーツに親しみ、国際社会に貢献できる日本人を育成するという観点から、オリンピック・パラリンピックの扱いについて調査する。（＊2）
- ・ 東京都教育委員会の基本方針1及び東京都の男女平等参画推進の施策を踏まえ、固定的な性別役割分担意識の解消や、「無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）」に気付いて言動等を見直していくなど、男女の平等を重んずる態度を養うことができるよう、その扱いについて調査する。（＊3）

③ 調査の方法

- a～e 目次で示されている小単元を整理するとともに、硬筆教材、毛筆教材、硬筆と毛筆の関連教材のそれぞれについて、指導事項ごとに取り上げられた文字を単元の内容・教材の内容別に抽出する。
- f 発展的な内容については義務教育諸学校教科用図書検定基準第2章2(16)に基づき、発展的な学習内容以外のものと区別して、発展的な学習内容であることが明示されているものを整理する。

<その他>

- ＊1 防災や自然災害について取り上げている項目及び記述の概要を調査する。
- ＊2 オリンピック・パラリンピックについて取り上げている項目及び記述の概要を調査する。
- ＊3 固定的な性別役割分担意識について考える単元・項目・記述の概要を調査する。

（2）構成上の工夫（調査結果は「別紙3」）

以下の観点について、箇条書きで記述する。

- ア 毛筆の書き初めで示されている文字
- イ 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた工夫
- ウ デジタルコンテンツの扱い
- エ ユニバーサルデザインの視点
- オ その他

「別紙 1」 【(1) 内容 ア 調査研究の総括表】(中学校 書写)

項 目 発行者	a 「字形を整え、文字の大きさ、配列などについて理解して、楷書で書くこと」を取り上げている項目数	b 「漢字の行書の基礎的な書き方を理解して、身近な文字を行書で書くこと」を取り上げている項目数	c 「漢字の行書とそれに調和した仮名の書き方を理解して、読みやすく速く書くこと」を取り上げている項目数	d 「目的や必要に応じて、楷書又は行書を選んで書くこと」を取り上げている項目数	e 「身の回りの多様な表現を通して文字文化の豊かさに触れ、効果的に文字を書くこと」を取り上げている項目数	f 発展的な内容を取り上げている箇所数
東 書	6	8	3	2	5	1
三省堂	6	8	3	2	3	2
教 出	6	10	7	2	2	5
光 村	8	7	5	1	3	1
平均値	6.5	8.3	4.5	1.8	3.3	2.3

表中の平均値は小数点以下第2位を四捨五入した。

f 中学校学習指導要領の指導事項にはないが、高等学校の指導につながることや文字に関する知識の内容を取り上げている項目数

「別紙２－１」【（１） 内容 イ 調査項目の具体的な内容 東書】（中学校 書写）

学年	単元の内容	教材の内容	a 字形、文字の大きさ、配列の内容	b 漢字の行書の基礎的な書き方の内容	c 漢字の行書とそれに調和した仮名の書き方の内容	d 目的や必要に応じて、楷書又は行書を選ばせる内容	e 身の回りの多様な表現を通して文字文化の豊かさに触れ、効果的に文字を書くこと
1	読みやすく書く—楷書	点画の書き方と字形の整え方	「大志」（毛）				
		仮名の書き方と字形	五十音表（小）				
		文字の大きさと配列	「夏山の緑うつりし小窓かな」（小）				
	読みやすく速く書く—行書①	読みやすく速く書くための動き		「東」（毛）			
		点画の連続		「日光」（毛）			
		点画の変化		「大空」（毛）			
		行書のまとめ①		「二」他（硬）			
	生活に広げよう	手紙を書こう—お礼状	手紙、封筒（硬）				
		年賀状を書こう		はがき 他（小）（硬）			
		職場訪問をしよう	手紙、聞き取りメモ、ポスター、レポート（硬）				
2	読みやすく速く書く—行書②	点画の省略		「桜色」（毛）			
		筆順の変化		「若緑」（毛）			
		行書と仮名の調和			「豊かな自然」（毛）		
		行書に調和する仮名			五十音表（小）		
		文字の大きさと配列			「草山に馬放ちけり秋の空」（小）		
		行書のまとめ②		「格」他（硬）			
	楷書と行書を使い分ける	楷書と行書の使い分け				インタビューのメモ、試験の申し込み書（硬）	
	生活に広げよう	本のポップを書こう	本のポップ（硬）（小）				
		地域の活動に参加しよう—防災訓練				メモ、会議録、ポスター、案内表示、看板、パンフレット（硬）（毛）	
3	身の回りの文字の豊かさに触れ、効果的に書く	身の回りの文字の目的と工夫					校内表示 他（硬）（毛）（小）
		手書き文字の特徴					便箋、黒板、看板（硬）
		現代につながる文字の役割					木の札 他（硬）（毛）（小）
		自分のノートを見直す—効果的な書き方を工夫する					ノート（硬）
	生活に広げよう	思いを文字で表そう					卒業に向けた作品、「栄光のかけ橋」（硬）（毛）（小）

（硬）硬筆教材 （毛）毛筆教材 （小）小筆教材 「 」例示されている文字

「別紙２－１」【（１） 内容 イ 調査項目の具体的な内容 三省堂】（中学校 書写）

学年	単元の内容	教材の内容	a 字形、文字の大きさ、配列の内容	b 漢字の行書の基礎的な書き方の内容	c 漢字の行書とそれに調和した仮名の書き方の内容	d 目的や必要に応じて、楷書又は行書を選ばせる内容	e 身の回りの多様な表現を通して文字文化の豊かさに触れ、効果的に文字を書くこと
1	楷書	字形の整え方と筆使い	「天地」（毛）				
		書いて身につけよう 字形の整え方（点画の組み立て・部分の組み立て・外形）	「天地」他（硬）				
	楷書と仮名	仮名の字形と筆使い	『いろは歌』（小）				
		文字の大きさと配列	「暑き日を海に入れたり最上川」（小）				
		書いて身につけよう 仮名の字形／文字の大きさと配列	『空中ブランコ乗りのキキ』他（硬）				
	行書	行書の特徴		「実」「結」（毛）			
		点画の丸み		「名月」（毛）			
		点画の連続		「元気」（毛）			
		点画の形や方向の変化		「探究」（毛）			
		書いて身につけよう 点画の丸み／点画の連続／点画の形や方向の変化		「名月」他（硬）			
	やってみよう	グループ新聞を作ろう	グループ新聞（硬）				
2	行書	点画の省略		「親和」（毛）			
		筆順の変化		「紅花」（毛）			
		書いて身につけよう 点画の省略／筆順の変化		「親和」他（硬）			
	行書と仮名	行書と仮名の調和			「豊かな実り」（毛）		
		行書に調和する仮名			『いろは歌』（小）		
		書いて身につけよう 行書と仮名の調和／行書に調和する仮名			『枕草子』、『平家物語』、はがき（硬）		
	楷書と行書	楷書と行書の使い分け				漢字テストの解答欄、メモ、お礼状（硬）	
	やってみよう	情報誌を作ろう				情報誌（硬）（小）	
3	文字文化の豊かさ	身のまわりの文字					書状 他（硬）（毛）（小）
		書いて身につけよう 身のまわりの文字					ノート（硬）
	やってみよう	名言集を作ろう					名言集、「未知へと歩む」（硬）（毛）（小）

（硬）硬筆教材 （毛）毛筆教材 （小）小筆教材 「 」例示されている文字 『 』作品名

「別紙２－１」【（１） 内容 イ 調査項目の具体的な内容 教出】（中学校 書写）

学年	単元の内容	教材の内容	a 字形、文字の大きさ、配列の内容	b 漢字の行書の基礎的な書き方の内容	c 漢字の行書とそれに調和した仮名の書き方の内容	d 目的や必要に応じて、楷書又は行書を選ばせる内容	e 身の回りの多様な表現を通して文字文化の豊かさに触れ、効果的に文字を書くこと
1	楷書で書こう	筆使い―基本点画―	基本点画の種類（毛）				
		筆使いと字形「天地」	「天地」、「成功」（毛）				
		学習を生かして書く―字形、筆順―	「常」他（硬）				
	楷書と仮名を調和させて書こう	楷書に調和する仮名「いろは歌」	『いろは歌』、五十音表 他（硬）（小）				
		学習を生かして書く―配列―	『竹取物語』（硬）				
		学校生活に生かして書く	メモ、レポート、本の帯、ポップ、ポスター（硬）				
	行書で書いてみよう	行書学習のはじめに		『屏風土代』他（硬）（毛）（小）			
		楷書と行書の違い「和」		「和」（毛）			
		行書の筆使い「大」		「大」（毛）			
		点画の連続と変化１「大洋」		「大洋」（毛）			
		点画の連続と変化２「栄光」		「栄光」（毛）			
		点画の連続と省略「平和」		「平和」（毛）			
		学習を生かして書く―行書の特徴―		「風月」他（硬）			
2	行書で書こう	点画の省略「白雲」		「白雲」（毛）			
		筆順の変化「深緑」		「深緑」（毛）			
		学習を生かして書く―行書の特徴―		「特許」他（硬）			
	行書と仮名を調和させて書いてみよう	行書と仮名の調和「広がる夢」			「広がる夢」（毛）		
		行書に調和する仮名「いろは歌」			『いろは歌』、五十音表（硬）（小）		
		文字の大きさと配列			詩、短歌 他（小）		
		書く速さを意識して書く―行書と仮名の調和―			『走れメロス』（硬）		
		学習を生かして書く―行書と仮名の調和と配列―			『枕草子』、『平家物語』（硬）		
	学習活動や日常生活に生かして書こう	さまざまな書く場面				メモ、ノート、手紙、黒板、掲示物、立て看板（硬）（毛）	
		学習を生かして書く				新聞、掲示物（ポスター）、案内状（硬）（毛）（小）	
3	行書と仮名を調和させて書こう	行書と仮名の調和「美しい自然」			「美しい自然」（毛）		
		学習を生かして書く―配列―			『おくのほそ道』他（硬）（小）		
	身のまわりの多様な表現をとおして文字文化の豊かさにふれ、効果的に文字を書く	多様な表現による文字					案内標識 他（毛）（小）
		三年間の学習の成果を生かそう					リーフレット、半紙、メッセージカード 他（毛）（硬）（小）

（硬）硬筆教材 （毛）毛筆教材 （小）小筆教材 「 」 例示されている文字 『 』 作品名

「別紙２－１」【（１） 内容 イ 調査項目の具体的な内容 光村】（中学校 書写）

学年	単元の内容	教材の内容	a 字形、文字の大きさ、配列の内容	b 漢字の行書の基礎的な書き方の内容	c 漢字の行書とそれに調和した仮名の書き方の内容	d 目的や必要に応じて、楷書又は行書を選ばせる内容	e 身の回りの多様な表現を通して文字文化の豊かさに触れ、効果的に文字を書くこと
1	読みやすく書くための楷書	漢字を分解してみよう	点画の種類（毛）				
		漢字の筆使い	「天地」（毛）				
		楷書に調和する仮名（いろは歌）	『いろは歌』、五十音表（硬）（小）				
		文字の大きさと配列（俳句）	「五月雨をあつめて早し最上川」（小）				
	読みやすく速く書くための行書	行書の特徴		「緑」（毛）			
		行書スイッチを入れよう		「中学」他（毛）			
		点画の変化		「大木」（毛）			
		点画の連続		「日光」（毛）			
2	読みやすく速く書くための行書	国語 季節のしおり①		俳句、短歌（硬）			
		国語 情報収集の達人になろう	ノート（硬）				
		点画の省略		「積雲」（毛）			
		筆順の変化		「紅花」（毛）			
	文字を使い分ける	行書に調和する仮名（いろは歌）			『いろは歌』、五十音表（硬）（小）		
		行書と仮名の調和			「豊かな森」（毛）		
		楷書と行書の使い分け				インタビューメモ、選挙ポスター、入学願書、黒板（硬）	
		国語・学校生活 行書を活用しよう			応援旗、めくり、ポップ、学級目標、年賀状（硬）（毛）（小）		
3	文字を使い分ける	国語 季節のしおり②			『枕草子』（硬）		
		国語 職業ガイドを作ろう	壁新聞（硬）				
		全国文字マップ					石碑 他（硬）（毛）（小）
	未来へ向かって	文字の使い分け					新聞（硬）（毛）（小）
		総合 防災フェスタを開こう	ポスター、案内板、ラベル 他（硬）（毛）				
		三年間のまとめ					「自然」、「輝ける未来」（毛）
		国語 季節のしおり③			俳句、短歌 他（硬）		
		国語 冊子にまとめよう	冊子（硬）				

（硬）硬筆教材 （毛）毛筆教材 （小）小筆教材 「 」例示されている文字 『 』作品名

「別紙２－２」【（１） 内容 イ 調査項目の具体的な内容 f 発展的な内容を取り上げている項目】（中学校 書写）

発行者	学年	取り上げている内容	具体的な学習の内容
東 書	3	①書の古典—今に生きる書	①書体、書風の説明と、欧陽詢『九成宮醴泉銘』、王羲之『蘭亭序』、『曹全碑』、伝 藤原行成『蓬萊切』、虞世南『孔子廟堂碑』、褚遂良『雁塔聖教序』、顔真卿『自書告身』、高等学校の書道の紹介
三省堂	3 巻末	①篆刻について知ろう ②書の古典	①篆刻の説明 ②臨書の説明と、王羲之『楽毅論』、光明皇后『楽毅論』、鄭道昭・欧陽詢・褚遂良・顔真卿・李邕・蘇軾・空海・嵯峨天皇「雲（一字）」の紹介
教 出	2 2 2 2 巻末	①気持ちのつながりから文字のつながりへ ②短冊と色紙 ③日本建築と「書」 ④書の古典の鑑賞 ⑤芸術としての書道	①連綿の説明と、『元永本古今集』の紹介 ②懐紙、色紙、短冊の説明と、詩懐紙（藤原佐理）、色紙帖（本阿弥光悦『薄に月図』）、短冊（九条輔実『元禄堂上歌会帖』より）の紹介 ③書院造りと「書」の関係の説明と、茶室、現代の和室、書院造り、屏風、掛軸、扁額の紹介 ④書風の説明と、虞世南『孔子廟堂碑』、褚遂良『雁塔聖教序』、欧陽詢『九成宮醴泉銘』、顔真卿『顔氏家廟碑』の紹介 ⑤和歌の説明と、『西本願寺本三十六人家集』の紹介
光 村	3	①なりきり、書聖・王羲之	①高等学校の書道の説明と、王羲之『蘭亭序』の紹介

「別紙２－３」【 防災や自然災害の扱い 】（中学校 書写）

発行者	「単元名又は教材名」 【掲載方法】 記述の概要（学年 掲載ページ）
東書	「地域の活動に参加しようー防災訓練」 ・【本文】書写の学習を生かして、メモ、会議録、ポスター、案内表示、看板、パンフレットを作成すること（２年 Ｐ65-67） 「身の回りの文字の目的と工夫」 ・【資料】緊急避難場所の案内表示 他（３年 Ｐ73）
三省堂	「楷書と行書の使い分け」 ・【資料】防災訓練の伝言を受けたときに、箇条書きでメモを書くこと（２年 Ｐ63）
教出	該当なし
光村	「ユニバーサルデザインフォントって何だろう」 ・【資料】警報設備の標識（３年 Ｐ97） 「防災フェスタを開こう」 ・【本文】必要な情報を集めて整理し、書写の学習を生かして、ポスター、案内板、防災クイズ、ラベル、付箋、看板、防災ＣＭ動画を作成すること（３年 Ｐ98-99）

項目 発行者	ア 毛筆の書き初めて示されている文字	構成上の工夫			
		イ 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた工夫	ウ デジタルコンテンツの扱い	エ ユニバーサルデザイン の視点	オ その他
東 書	・第1学年 「早春」、「夢の実現」、 「温故知新」、「美しい緑」 ・第2学年 「平和の祈り」、「感謝する心」、 「信念を貫く」、「最善を尽くす」 ・第3学年 「梅の花咲く里」、 「希望に輝く春」、 「生命を尊ぶ」、「不屈の精神」	・学習の進め方を、「目標」、「見つけよう」、「確かめよう」、「生かそう」、「振り返ろう」とし、具体的な学び方を示している。	・二次元コードを採用し、インターネットから学習の参考となる資料を読み取ることができる。 ・「コンピューターを学習に生かそう」という説明資料によって、デジタルコンテンツにアクセスする方法を示している。	・ユニバーサルデザインフォントを採用している。 ・全ての生徒の色覚特性に適応するようデザインに配慮している。	・「はじめに」という内容を設定し、「これまで学んできたこと」、「姿勢と筆記具の持ち方」、「基本の点画の書き方」、「字形と配列を整える書き方」について確かめることができる。 ・「さまざまな書式」、「硬筆字典」、「ノートの取り方・レポートの書き方」という資料を「書写活用ブック」として巻末に掲載している。 ・学習内容に関連するコラム教材として、第1学年に「手書き文字と活字」、「文字の移り変わり」他、第2学年に「伝統的な用具・用材」、「筆記具の使い分け」他、第3学年に「書いて味わおう」、「書の古典—今に生きる書」他を掲載している。
三省堂	・第1学年 「日進月歩」、「輝く生命」 ・第2学年 「燃ゆる思い」、「大望を抱く」、 「温故知新」、「平和の鐘」 ・第3学年 「旅立ちの時」、「山光澄我心」	・学習の進め方を、見通しをもつ、「書き方を学ぼう」、毛筆で書く、振り返る、「書いて身につけよう」とし、具体的な学び方を示している。	・二次元コードを採用し、インターネットから学習の参考となる資料を読み取ることができる。 ・「二次元コード一覧表」によって、デジタルコンテンツの一覧を示している。	・カラーユニバーサルデザインに配慮している。	・「学習のはじめに」という内容を設定し、毛筆の「姿勢と構え方」、「大筆の持ち方／小筆の持ち方・構え方」、「筆の運び方」、「用具の扱い方」、硬筆の「姿勢と構え方／鉛筆の持ち方」について確かめることができる。 ・「便箋と封筒の書き方」、「はがきの書き方」、「送り状・のし袋・願書・原稿用紙の書き方」、「文房四宝」、「書の古典」、「毛筆補充教材」、「楷書・行書一覧表」、「二次元コード一覧表」、「書き初め」、「『書き方を学ぼう』一覧」という資料を「資料編」として巻末に掲載している。 ・学習内容に関連するコラム教材として、第1学年に「活字と手書き文字・筆順」、「文字の変遷」、第2学年に「学力テスト問題」を掲載している。
教 出	・第1学年 「新たな決意」、「伝統文化」 ・第2学年 「宇宙への旅」、「生命の尊重」 ・第3学年 「環境を守る」、「真理の探究」	・学習の進め方を、「目標」、「考えよう」、「生かそう」、「振り返ろう」とし、具体的な学び方を示している。	・二次元コードを採用し、インターネットから学習の参考となる資料を読み取ることができる。 ・「まなびリンク」につながる二次元コードによって、デジタルコンテンツの活用方法を示している。	・ユニバーサルデザインフォントを採用している。 ・カラーユニバーサルデザインに配慮している。	・「姿勢と用具の使い方」、「学習内容を効果的にノートに書こう」という内容を設定し、「基本の姿勢」、「用具の置き方」、「毛筆の持ち方」、「硬筆の持ち方」、「墨のすり方」、「後片づけ」、「ノートの書き方」について確かめることができる。 ・「書式の教室」、「書写テストで確認」、「書写で身につけた力を、学習活動で活用しよう」、「小学校で学習した漢字一覧表」、「中学校で学習する漢字一覧表」、「補充教材集」、「芸術としての書道」という資料を巻末に掲載している。 ・学習内容に関連する「コラム」として、第1学年に「筆、墨、硯、紙について知ろう」、「文字の変遷」他、第2学年に「短冊と色紙」、「日本建築と『書』」他を掲載している。
光 村	・第1学年 「不言実行」、「文武両道」、 「強い決意」 ・第2学年 「将来の夢」、「温故知新」 ・第3学年 「旅立ちの春」、「伝統を守る」	・学習の進め方を、「考えよう」、「確かめよう」、「生かそう」とし、具体的な学び方を示している。	・二次元コードを採用し、インターネットから学習の参考となる資料を読み取ることができる。 ・「タブレットを活用しよう」という説明資料によって、デジタルコンテンツの活用方法を示している。	・ユニバーサルデザインフォントを採用している。 ・カラーユニバーサルデザインに配慮している。	・「中学書写スタートブック」という内容を設定し、「姿勢・筆記具の持ち方」、「用具の準備・片付け」、「学習の進め方／タブレットを活用しよう」、「字形の整え方」について確かめることができる。 ・「日常に役立つ書式」、「中学生のための漢字字典」、「書き初めマスターブック」という資料を巻末に掲載している。 ・学習内容に関連する「コラム」として、第1学年に「文字の歴史を探る」、第2学年に「全国フォント見つけ隊」、第3学年に「ユニバーサルデザインフォントって何だろう」、「自分らしい文字」を掲載している。 ・別冊「書写ブック」として、楷書（「漢字の筆使い」他）、行書（「点画の変化」他）の硬筆を練習する資料を掲載している。